

2025 年度 公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部 第 4 回理事会 議事録

1. 日時

2026 年 3 月 17 日（火） 15 時 30 分～17 時 00 分

2. 場所

（一社）北海道開発技術センター大会議室兼オンライン（zoom）

3. 出席者

（理事）尾関、白川、千葉、大宮、川村、齋藤、八久保、西田、箕輪、原田（康）、
桑原、原田（裕）、渡邊、大鐘、小西（15 名）

（監事）金村

（委任状提出）杉田（1 名）

以上、敬称略

※進行：千葉副支部長、記録：小西

（1）前回理事会（2025 年度第 3 回）の議事録説明（報告）

小西理事より、2025 年度第 3 回理事会の議事録について報告がなされた。

（2）北海道の雪氷・北海道雪氷賞について（審議・報告）

西田理事より、国立国会図書館による機関誌「北海道の雪氷」のインターネット公開に関し、「著作権譲渡・使用許諾書」の文言変更案が提示され、承認された。

また、国立国会図書館による機関誌「北海道の雪氷」のインターネット公開については、支部活動であるため支部で決定し、その旨を理事会等で報告すれば良い旨を齋藤学術委員長と確認していることが報告された。

ウインターライフ推進協議会主催の「第 1 回ウインターライフフォトコンテスト」への協力方法として、今後、グランプリ作品を「北海道の雪氷第 45 号」の表紙に採用するほか、グランプリ副賞として北海道の雪氷第 45 号（冊子体）1 冊を提供する旨が、承認された。

2026 年度「北の蛍雪賞」の候補者の募集を開始する旨が、承認された。

（3）2026 年度北海道支部研究発表会について（審議）

箕輪理事により、2026 年度北海道支部研究発表会の開催に向けて日時・会場・告知内容について提案があり、以下のとおり承認された。

【日程・会場】

《北海道支部総会・北海道雪氷賞表彰式》

[日程] 2026年6月5日(金) 午前

[会場] かでる 2. 7 (北海道立道民活動センター) 520 研修室

《研究発表会》

[日程] 2026年6月5日(金) 午後

2026年6月6日(土) 終日

[会場] かでる 2. 7 (北海道立道民活動センター) 520 研修室

《懇親会》

[日程] 2026年6月5日(金) 17時以降

[会場] 立食形式での懇親会を検討中(札幌市役所食堂(予定))

【スケジュール】

《開催案内》2026年3月下旬(ML投稿・HP掲載)

《発表申込期限》2026年5月1日(金) google formで申し込み作業
応募フォーム案(<https://forms.gle/mWhKE9VwgL2uAU4o8>)

《ポスター・プログラム・要旨集》2026年5月上旬(ML投稿・HP掲載)

(4) 雪氷災害調査チームの活動について(報告)

原田(裕)理事の代理として尾関支部長より、雪氷災害調査チームの活動について報告がなされた。主な報告事項は以下のとおり。

- ・ 北海道における雪崩事故への対応
- ・ WEBカメラの試行的設置
- ・ 寄付企業の振り込み
- ・ 会計状況
- ・ 本部雪氷災害対策委員会による全国的な積雪調査の進捗状況

また、雪崩等に関する問い合わせ先として、今後雪氷災害調査チーム担当理事に集約する旨、また、次年度以降シーズン前の記者発表内容を理事会でも共有する旨が承認された。

(5) 2026年度支部役員の交代について(審議)

小西理事より、現在の支部役員の体制及び在任期数について説明があり、今後、支部長を中心に、後任候補者を絞り込み、連絡を取る方針で承認された。

(6) 2026年支部総会資料について（審議）

小西理事より、総会資料案が提示され、議事の流れを確認した。なお、清算が未完了の理事は早めに提出を行うことも確認された。

また、今後、会計担当理事により出費処理の整理を進めることが確認された。決算書類が確定次第、監査を行い、総会資料に反映することが齋藤理事より説明された。なお、年度を跨ぐ会計処理の方法について、齋藤理事から本部財務理事に問い合わせる旨、確認された。

(7) 2025年度地域講演会について（報告）

原田（康）理事より、令和8年2月15日（日）アルゴグラフィックス北見カーリングホールで開催した「カーリングホールのアイスメイク技術と競技への影響」講演会の開催報告がなされた。また、直接経費として講師謝礼や会場使用料が発生した旨の会計処理についても報告がなされた。

(8) その他

白川副支部長より、雪氷研究大会（2026・北見）準備状況について以下報告がなされた。

- ・ 2025年12月（第1回）、2026年2月（第2回）に実行委員会を開催し、大会運営体制および予算案等が検討され、今後4回を予定している。
- ・ バスチャーター費用の増加等により当初赤字が見込まれたため、参加費を500円値上げする案を実行委員会で決定し、日本雪氷学会・日本雪工学会に諮っているところである。
- ・ 大会管理システムとしてConfitの採用が決定した。
- ・ 八久保晶弘副実行委員長を中心にプログラム委員会が組織され、スペシャルセッションの募集を進めている。
- ・ 研究技術交流会（懇親会）はホテル黒部（9月15日）にて開催予定である。
- ・ 現在のところ大会準備は概ね順調に進んでおり、今後はプログラム編成、参加登録システム整備、技術展示・協賛募集等を進めていく予定である。
- ・ 大会への参加や広告・協賛を募集する。

小西理事より、次回理事会を6月5日に開催する旨、承認された。また、欠席者の委任状の提出方法にWEBツールを活用する旨、承認された。

以上